

千葉の教育は 何をめざすのか

○道徳教育 とカジノ

県立学校改革推進プランの最終案が発表されました。改革の方向性の第1にあげているのが道徳教育の推進です。森田知事が熱心な道徳です。具体的には平成25年度から高校の第一学年に35単位時間程度を導入するとしています。どのような教材を使うのか全く分

りません。

道徳教育に力を入れる一方、カジノすなわちギャンブルにも力を入れようとする知事は、市民ネット・社民・無所属会派の山本議員の質問に「検討中の法案では、国の適切な監視及び管理の下でカジノは運営されるとしており、マイナス面の対策を検討」と答弁。あまりに国まかせです。ギャンブル依存症のおそろしさをしっかりと調査してほしいものです。道徳にもカジノにも熱を入れる知事。支離滅裂です。

○ほんの一握りのエリート づくりか

方向性の第2はキャリア教育。職業教育の充実です。一例として東葛飾高校に医歯薬コースを設置。これでは大学進学のための予備校化の推進です。しかも、中高一貫教育として東葛飾高校に県立中学校を併設する計画です。いわゆる進学校のさ

12月定例県議会 商工労働・企業常任委員会より 国民宿舎サンライズ九十九里3億4000万円で売却。 あまりに安価に疑問

県有施設、国民宿舎サンライズ九十九里の売却が議案として提出されました。サンライズ九十九里は取得価格96億円、22年度末の簿価47億8600万円。震災前の22年12月1日の不動産鑑定評価額17億1040万円。売却先は県観光公社、売却額3億4000万円。築13年、客室稼働率80%前後、売上11億円、収支は1億

- ① 8000万円強の黒字の優良施設です。観光公社への売却の3条件として
- ② 10年間転売禁止、宿泊施設としての用途
- ③ 従業員の雇用維持(一年半)

3億4000万円まで下げたのか、ということ。委員会の中で、その点を明らかにしようとしたのですが、明確な説明はえられませんでした。行政改革推進計画にあるからということ

の財産処分でしたが、県民の財産です。その処分として3億4000万円の価格は納得することはできず反対しました。



平和台駅前、冬の朝小学生が元気にあいさつしてくれます。

柏廃材の更新許可 に強く抗議

野田市南部工業団地内にある柏廃材処理センター(産業廃棄物を焼却する施設)周辺では化学物質過敏症と診断された住民が、心身ともにつらい思いで生活しています。柏廃材の更新に反対してきましたが、県は12月定例県議会最終日、更新の許可を出してしまいました。知事は

県立流山南高校に エレベーター設置

よく県民の命、健康を守る、大事であるといいながら、県民の健康を切り捨てる結論を出したのです。いかに知事の言葉が口先だけのものであるか証明したようなものです。それにして、現実には苦しむ住民に対してはこれからのように対応していくのか。この健康被害の原因は何だと考え、調査していくのか。柏廃材の更新を許可したからには、県は周辺住民に説明責任を果たすべきです。うやむやや許されません。これから、化学物質過敏症に苦しむ住民、環境悪化に怒る住民の方と共に問題解決にむけて追及を続けます。

県立高校のバリアフリー化が進まない中、ようやく流山南高校にエレベーターが設置されました。車椅子で学んでいた生徒がずっと要望していました。残念ながら、この生徒の卒業に間に合いませんでした。しかし、これから車椅子でも、心臓等の

内部疾患でもこのエレベーターがあれば学校生活での校舎内の移動の自由は、はるかに高くなりました。せっかく設置されたエレベーターです。高校生活を楽しむ生徒の利用を待っているようです。

“決算認定反対” 討論をする

12月20日、12月定例県議会最終日、会派(市民ネット・社民・無所属)を代表し、2010年度決算認定に反対の討論を行ないました。

- ① 県立病院の耐震化への取り組みが消極的であり、県民の命にかかわる。
 - ② 児童養護施設の整備拡充が進まず、児童相談所の一時保護所で、学校に行くこともできない子どもが多く、子どもの人権・くらしをきちんと守っていない。
 - ③ 学校職員による、わいせつ、セクハラ事件が多く、もっと真剣に取り組まねばならない。
 - ④ 入札において極端に低い落札率がある。低入札価格調査制度が働いていない。
 - ⑤ 株式会社かずさアカデミアパークの経営破たんにより60億の税金を無駄にした。その反省もないうまま、構想見直しに走っている県の姿勢は問題。
- 等の理由をのべ、最後に柏廃材に更新許可を出したことに強く抗議をしました。